第７編　地区別避難計画（コミュニティタイムライン　令和４年９月作成）

1.1　地区別避難計画（コミュニティタイムライン）の作成概要
1.2　鶴原町
1.3　中庄
1.4　上瓦屋町
1.5　下瓦屋町
1.6　湊
1.7　郷田町
1.8　樫井東町
1.9　岡本町
1.10　樫井西町
1.11　羽倉崎町
1.12　松原町
1.13　松原団地
1.14　笠松町
1.15　野出町
1.16　元町
1.17　西本町
1.18　本町
1.19　春日町
1.20　新町

1.1　地区別避難計画（コミュニティタイムライン）の作成概要

市では、河川氾濫及び高潮の浸水想定区域の住民を対象に「コミュニティ・タイムライン」作成に関する住民ワークショップを実施した。ワークショップでは、それまでに実施した講演会やまち歩きで得た知識、話し合いを通じて、避難目標場所や避難経路、避難する際に注意すべき箇所の検討や、避難行動の流れに関する検討を行った。そしてその成果を「コミュニティタイムライン」及び「地区別ハザードマップ」としてまとめた。

■水害対応タイムライン講演会

日時：令和 3 年 12 月 11 日（土）
　　14 時 30 分～16 時 30 分

場所：エブノ泉の森ホール小ホール

■風水害をイメージしたまち歩き

日時：令和 4 年 1 月～2 月

場所：各地域

■水害対応タイムラインワークショップ

日時：令和 4 年 3 月 12 日（土）・13 日（日）

場所：レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター多目的室

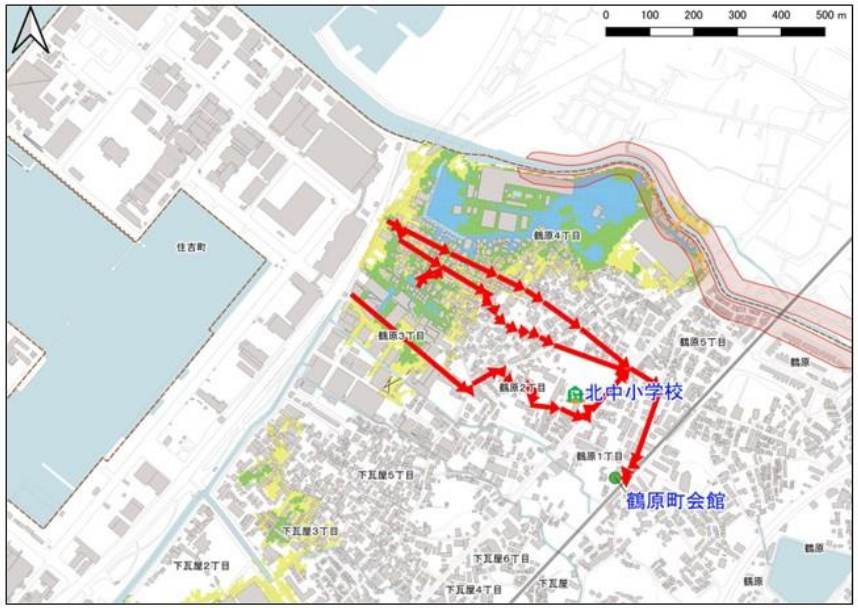
鶴原町ハザードマップ

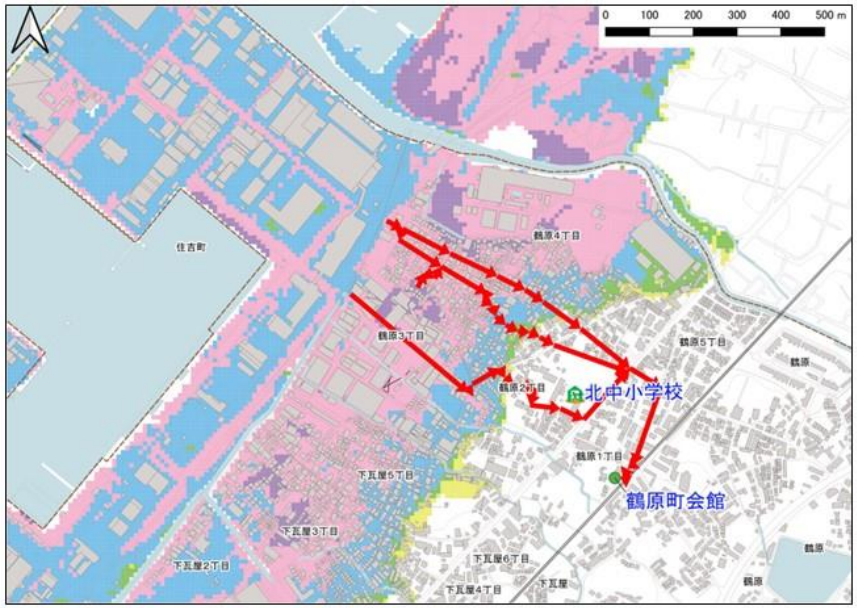
【鶴原町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 町会自主避難場所
- 避難経路
- 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 町会自主避難場所
- 避難経路
- 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

鶴原町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報 早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		役員が集合する（会館に）LINE ○会長の判断で町内放送を行う 避難準備の放送 ○町内会長が防災会会長と民生委員に連絡 ○町内放送で町民に連絡 ○防災会会長が各種団体に連絡 ○危険を感じたらすぐ町会長に連絡	避難希望者から会館に連絡をもらう（TELなど）		
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		避難所準備（町会館、小学校） 町内放送（繰り返し）	近所の家の安否確認 自分の家の回り		
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	レベル3避難所開設　高齢者へ避難開始連絡	安否確認の連絡票に基づきTEL、訪問を行う	レベル3支援高齢者避難 絆メンバー 120人 避難誘導 町内放送行う 防災無線 独居老人より支援依頼に基づき訪問開始	レベル3 対策本部設置 町会長が防災会へ連絡
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		避難指示	会長の合図で一斉に安否確認に出動する 全員逃げたか確認 誰が？ 自主防災会が絆メンバー120人を確認する		
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報		水位30cmで水平避難中止、垂直（2階）以上へ避難 注意喚起			

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.3　中庄

中庄ハザードマップ

【中庄自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。

洪水

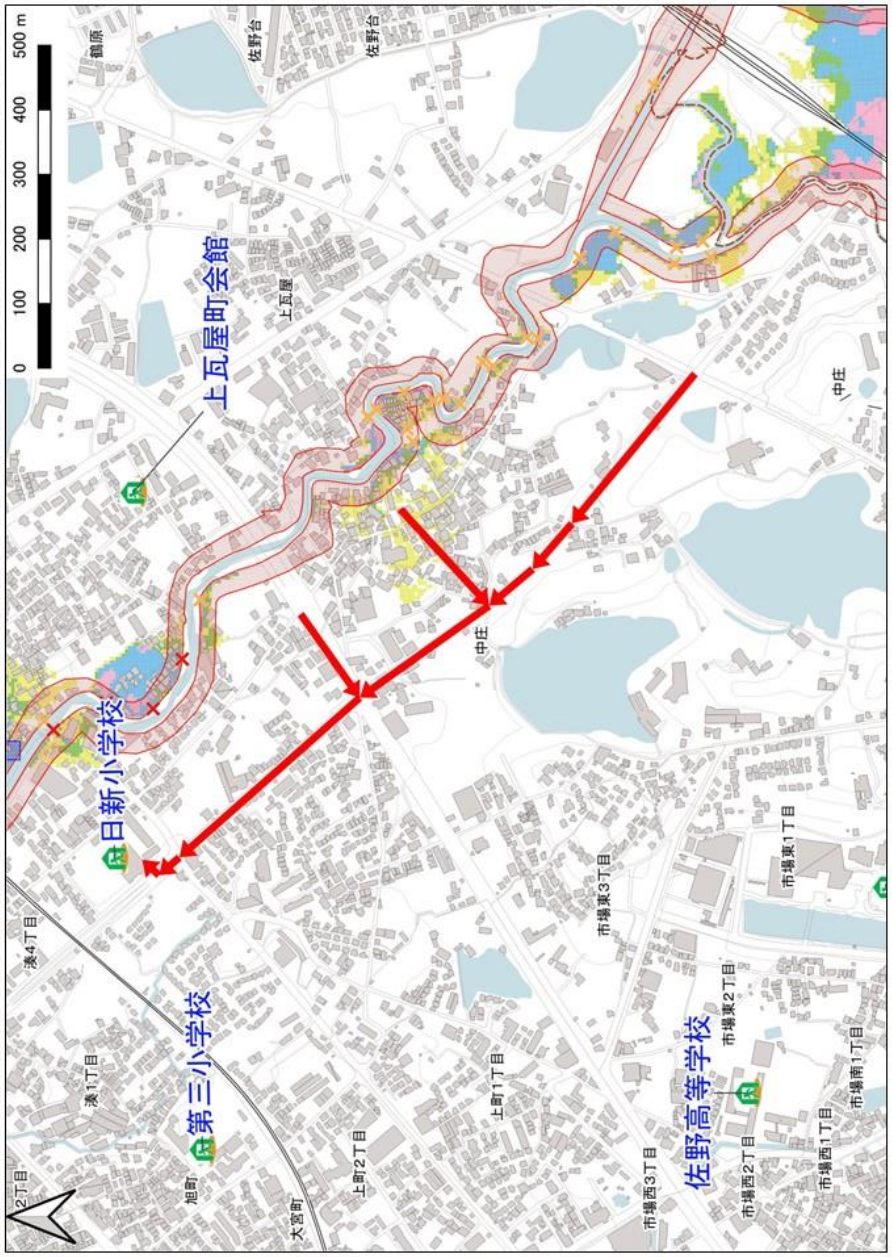
洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- 破堤想定地点
- 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 洪水時に利用できない避難所



マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

中庄　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報					**事前に想定のタイムラインを書面で作成し各戸に配布する**			
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**会長から各役員に集合をかける 事前に車で会館に 要支援者に対して会長から各班班長にTELで連絡する**			
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		**要支援者に対して会長、役員、各班長と連携して、訪問して避難を指示する**	**班長が実際に訪問して避難支援する 役員も各自　各々避難の協力に向かう**	**町内会館を避難所に設定した場合に物資等の支援を要請する**
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		**避難指示が出た時　会長から各班長に班員にTELにて連絡**			
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.4　上瓦屋町

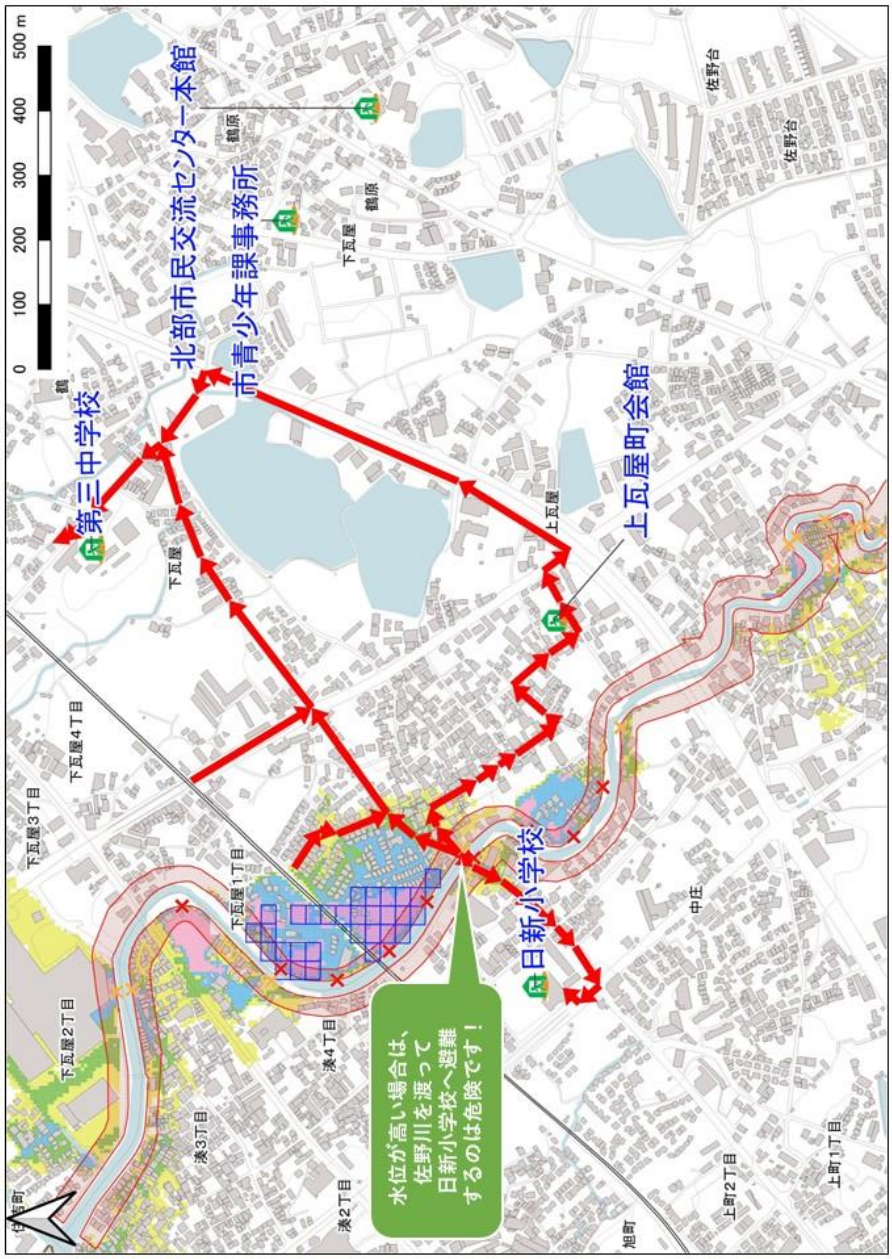
上瓦屋町ハザードマップ

【上瓦屋自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

上瓦屋町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								**佐野川の川床清掃**
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**組長さんが要支援者に電話又は訪問して情報を伝える（わかりやすいマーク、ベスト、担当者誰が）**		**【避難伝達】** **・市の放送がある** **・地区での伝達** **①町の役員が歩いてメガホンで言い伝える** **②新設する（今後）放送設備を活用する** **① ②どちらか**	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		**各防災委員、民生委員が要支援者宅へTEL,訪問** **自主防災会長（町会長）⇒評議員→隣組長**	**要支援者の搬送** **マイクロバス、業者との協定作成**	**警報発令時 自主防災会長から各防災委員を招集** **警戒レベル3でベスト（自主防災会）**
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了					
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.5　下瓦屋町

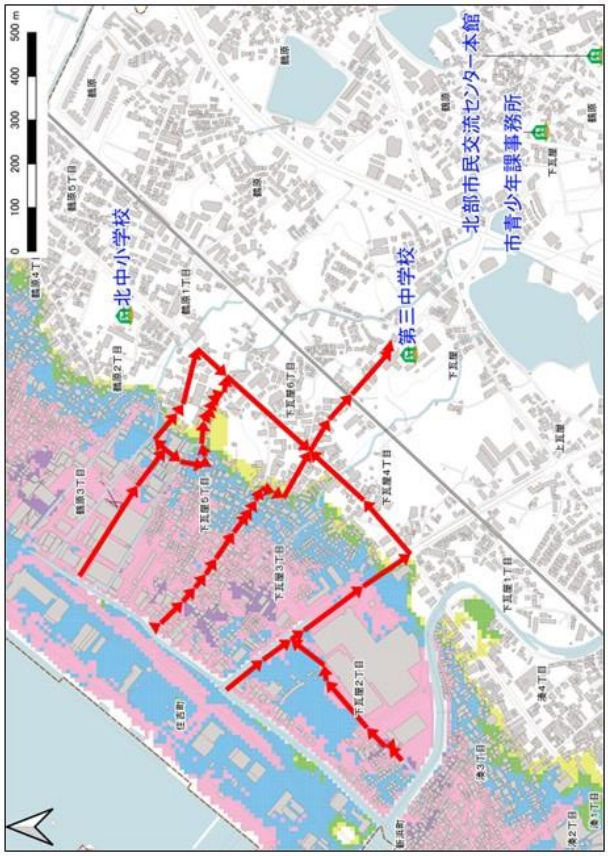
下瓦屋町ハザードマップ

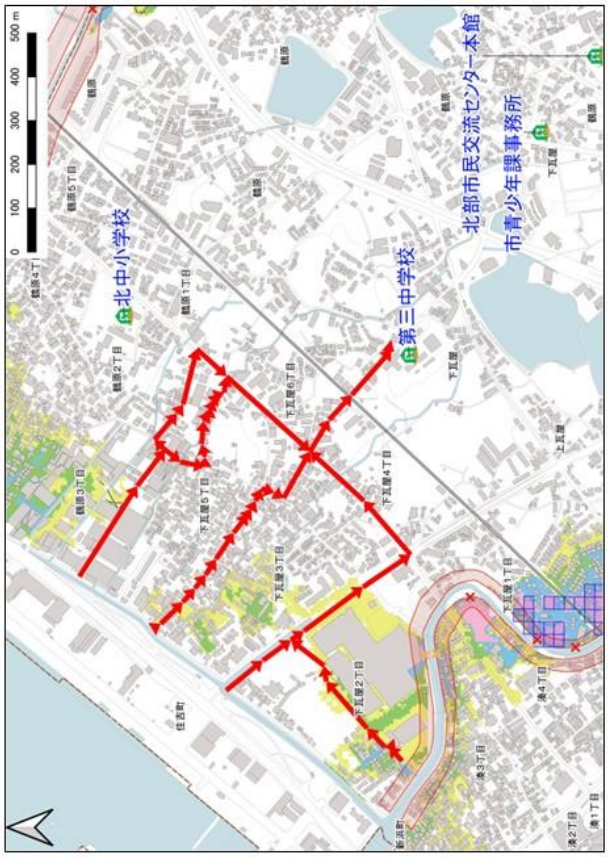
【下瓦屋町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 高潮時に利用できない避難所

洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- 破堤想定地点
- 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 洪水時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

下瓦屋町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		**町内放送にて町内に伝達**			
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**組長が高齢者世帯に訪問し確認する** **【河川の水位が上がりつつあるとき】隣組長が上がりつつある水位を確認する**	**組長が確認する**	**高齢者を移動させる**	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	**【隣組地区にある河川の水位が上がり道路に広がったとき】隣組長が一人世帯の老人の方に声掛けを行う、避難を促す（会館、2階、三中）**	**自主防災会のメンバーにて、要支援者の安否確認を行う（電話・訪問）** **隣組に伝達し、各隣組の安否確認**	**要支援者の移動をサポートする（おんぶひも、リヤカー、車いす）**	
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		**【隣組地区にある河川の水位が道路を冠水し、膝まで上がったとき】お隣の方でひとり世帯の老人の方を避難所へ連れていく** **（お隣の方が老人の場合は誰がするか決める）**	**福祉委員（民生委員）と協力し、高齢者世帯の安否確認** **【隣組地区にある河川の水位が道路を冠水し、膝まで上がったとき】隣組長が支援する人に連絡する** **評議員、各種団体による町内見回り**		
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

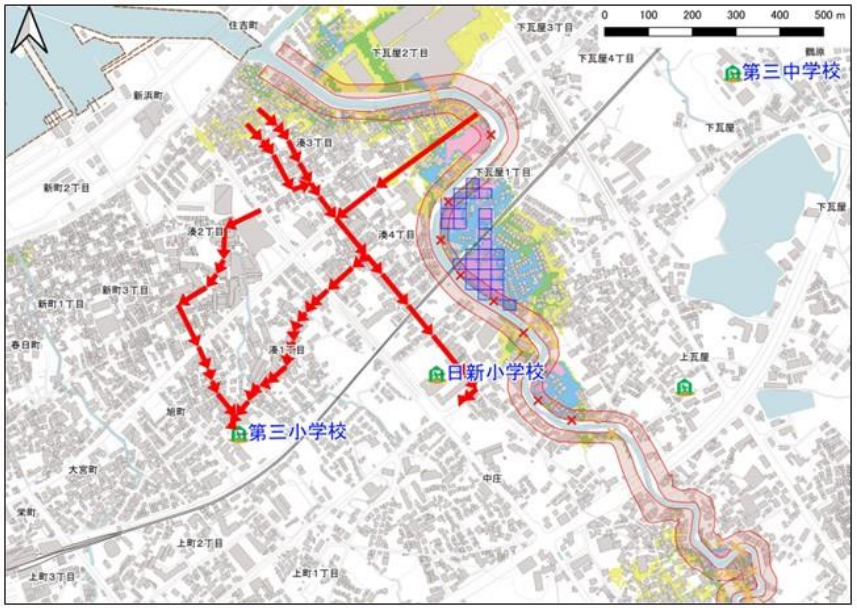
湊ハザードマップ

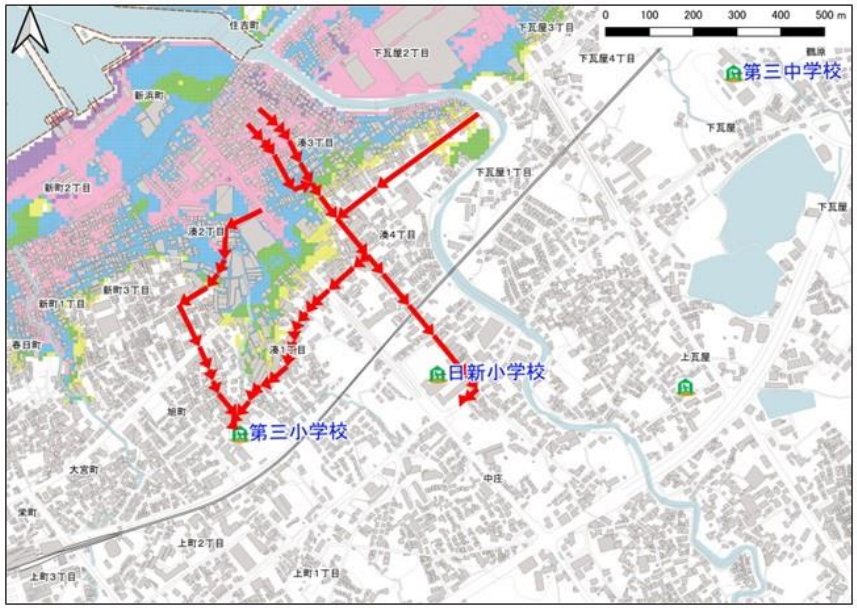
【湊防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

湊　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民） 避難できる人	避難支援が必要な人	コミュニティタイムライン（地域の動き） 情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報					大雨、高潮警報をテレビ、ネットで確認			現在の避難レベルと避難ルート
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					5役は市の危機管理課と情報を密に取る
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		町内放送 独居老人にはTEL			5役が避難路を把握して評議員に連絡する 避難所開設準備（氾濫注意情報）
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	高齢者に民生委員は口頭で伝える 避難情報を要介護者に民生委員が迎えに（リヤカー）	町会（避難指示） ↓ 民生委員が高齢者に連絡（避難指示） ↓ 第１避難所へ誘導 一人あるいは自主避難ができる人は、民生委員がTELで。不可な人は自宅訪問	【避難所開設時】 高齢者・乳幼児・きずな登録者：近隣住人、町会役員、自主防災・民生委員・・・　車・誘導係を決めて付き添う まず町内会館へ誘導する（独居老人を優先） 町の高齢者施設に車いす、福祉車両を借りる	町内5役は支援用具を用意する 町5役は町内パトロールする 排水ポンプの準備 老人運搬用のリヤカーの準備 危ない箇所に赤旗等の印をする グループホーム泉州等と協力
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		町会館スピーカー　町内放送で、刻々の状況を町内住民に伝える	独居老人を優先にTELする タオルを門前に提示	高齢者を民生委員・隣組長・評議員、町会5役が支援誘導する	避難必要情報を5役が把握する
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					湊町対策本部を立ち上げて、各種団体・5役・民生委員の協力を得る

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.7　郷田町

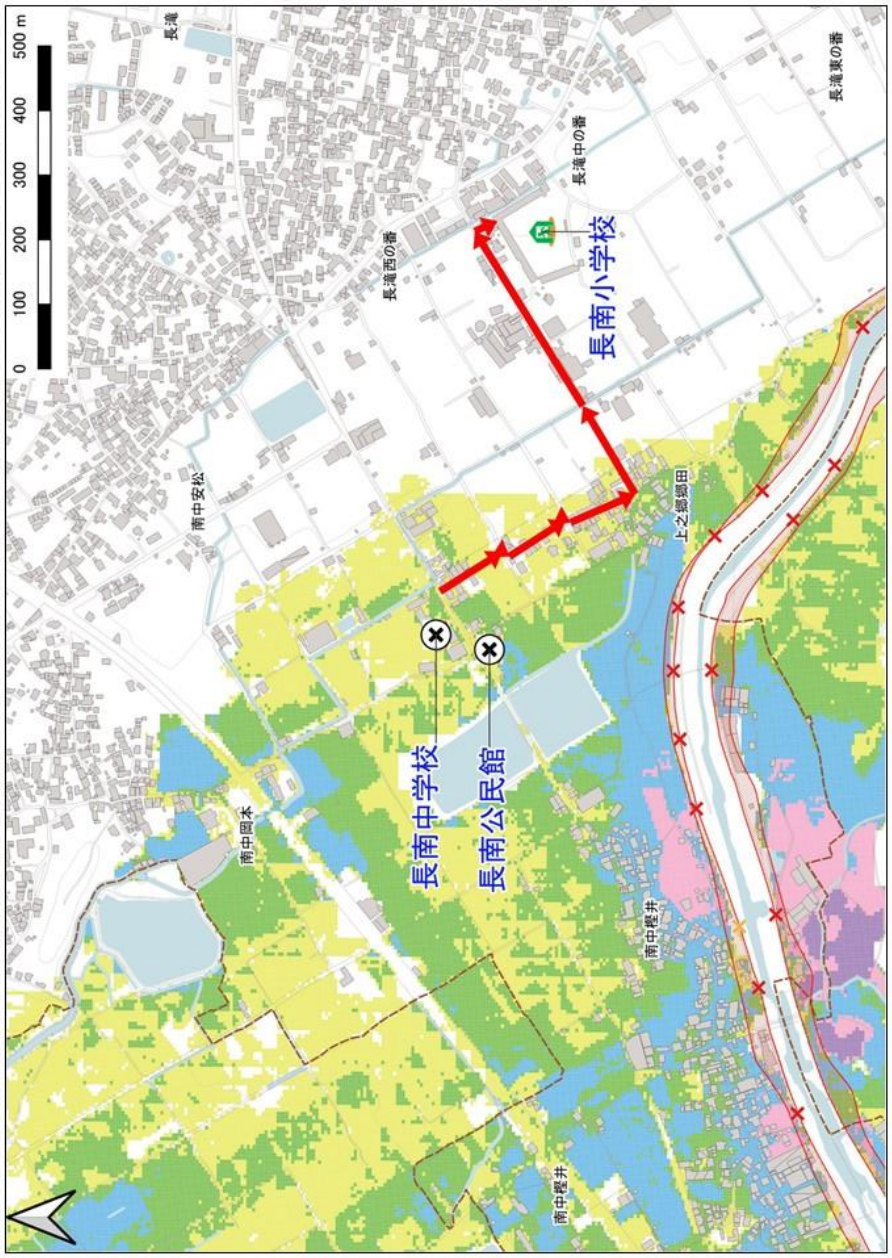
郷田町ハザードマップ

【郷田町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- 破堤想定地点
- 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 洪水時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

郷田町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					非常食、水、カセットコンロ、乾電池、マッチ
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える					救急セット、ラップ　町で常備しておく
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	避難所開設 町会長→役員・組長→老人、一人暮らし 高齢者等避難　発令で避難困難な人に隣人が伝える			
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		市から避難指示が出たとき 高齢者世帯　町会長→組長　電話連絡	【避難指示】 町会長→役員・組長 TEL連絡　→一人所帯 【避難指示】 隣人が隣人に直接訪問、電話で確認する 避難時、避難者が避難していることを声掛け	【避難指示】 車誘導→近所の人 【避難指示】 高齢者、妊婦、障がい、隣人が車（付添徒歩） 高齢者、乳幼児 農業用運搬車 車	
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

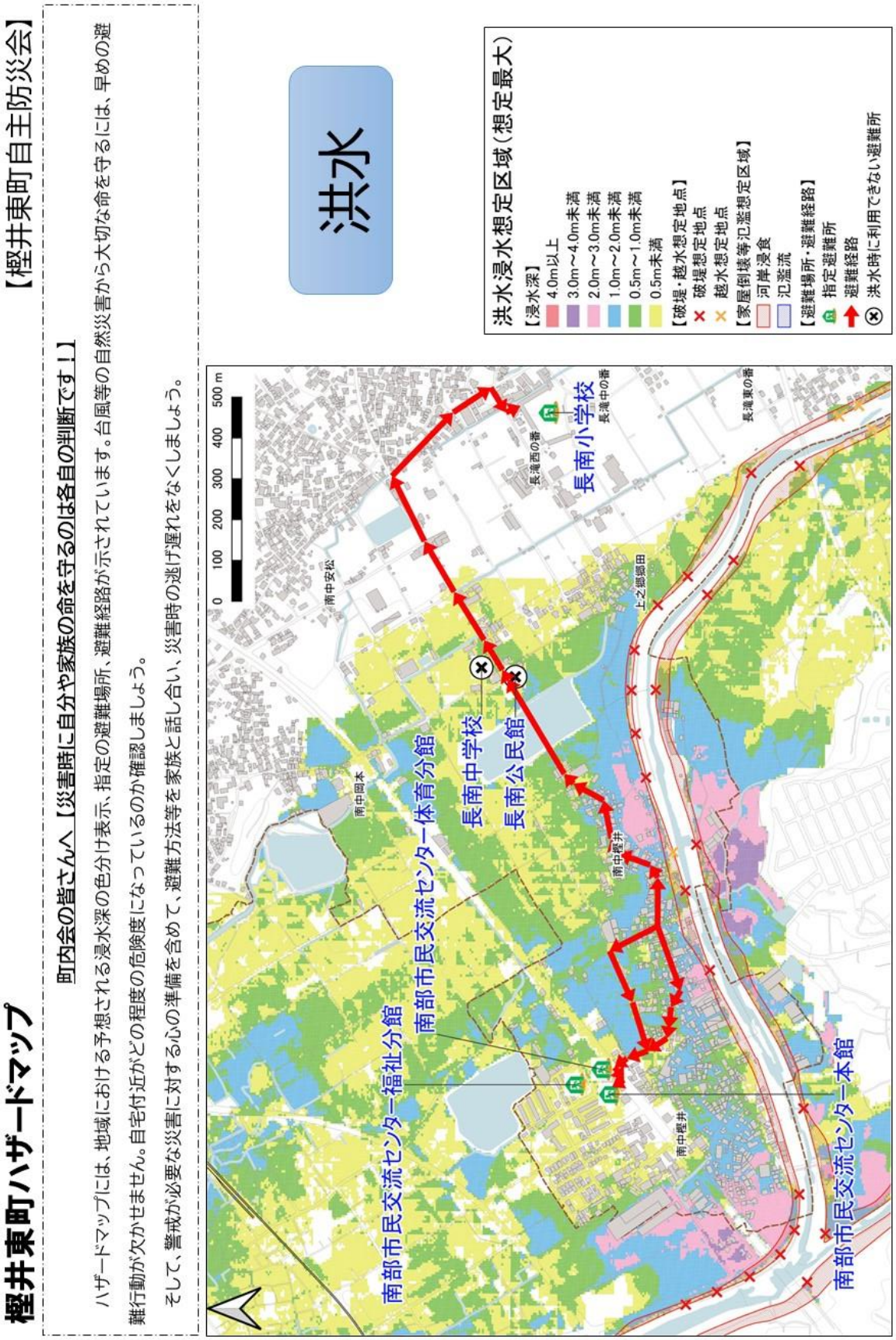
（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先	

避難に関する参考情報	
河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.8　樫井東町


樫井東町ハザードマップ
【樫井東町自主防災会】
町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】
ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。
そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。
洪水
洪水浸水想定区域（想定最大）
【浸水深】
4.0m以上
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
【破堤・越水想定地点】
破堤想定地点
越水想定地点
【家屋倒壊等氾濫想定区域】
河岸浸食
氾濫流
【避難場所・避難経路】
指定避難所
避難経路
洪水時に利用できない避難所
0 100 200 300 400 500 m
南部市民交流センター福祉分館
南部市民交流センター体育分館
長南中学校
長南公民館
長南小学校
南部市民交流センター本館
南中岡本
南中安松
長滝西の番
長滝中の番
長滝東の番
上之郷細田
南中樫井

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

樫井東町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		**防災無線の連絡の徹底**		**誘導者の認定者を誰にするか**	**非常持出品の準備品は何か**
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**隣組長・福祉委員→独居、高齢者、障がい者、その他　電話、直接**	**安否確認状況に応じて、車を出せる人を探して搬送を依頼する**	**避難誘導の徹底ができたかの確認を各組長に依頼し、結果、有無は組長から町会長に連絡する※マニュアル化**	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	**【レベル3の情報を聞いたとき】 三役から組長や防災委員長、福祉委員への連絡 高齢者等の避難支援完了について、携帯電話又は伝令により本部に報告する**			
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		**避難完了は、情報班・誘導班・要援護者班が電話又は伝令により本部報告する**	**要避難住民には、隣組々長や防災救出班・誘導班等の出動により伝達又は電話通報する**		
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.9　岡本町

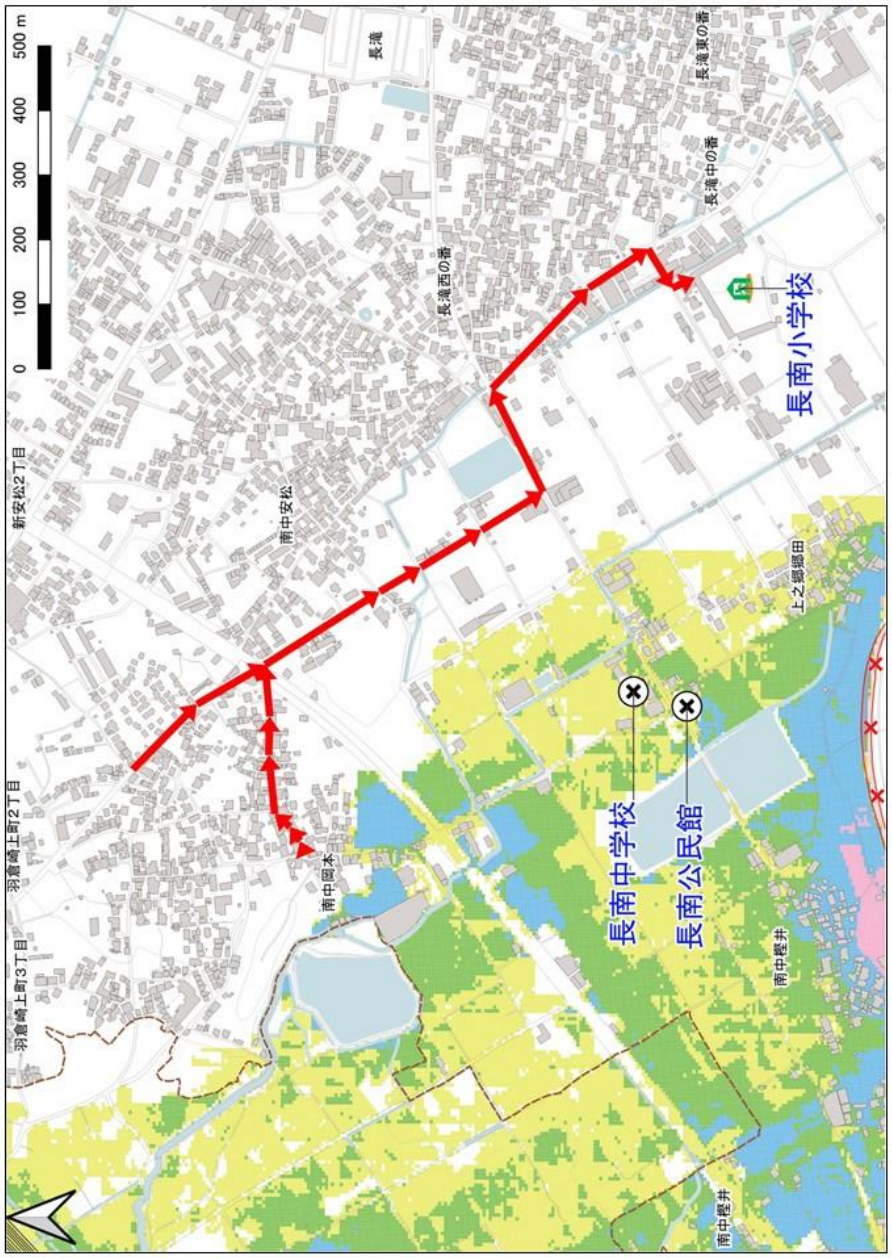
岡本町ハザードマップ

【岡本町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- 破堤想定地点
- 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 洪水時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

岡本町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					リヤカーは大切
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		レベル2で民生委員、協力員→気象情報、情勢の伝達	テレビで出たら、要支援者に民生委員と協力員　電話で安否確認する 組長（となり組）さんに組の安否確認する（自分の家がおちついてっから）		町内会に4役が集合する、そこから指示を出す
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	警報出たら、睦会青年団　ハンドマイクで町内巡回 情報収集、町会役員伝達 ↓ 広報で全町民へ睦会青年団		レベル3　神社、寺役、民生委員と協力員に家庭訪問して、連れて行ってもらう（要支援者） レベル3　高齢者に逃げてもらう、動ける人は自主的に	近隣事業者へバスの借用を検討する
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了				隣組で声を掛け合って避難する 組長さんが避難誘導する ↓ 評議員さんが避難所で来た人の確認 町内会館は高齢者を2Fに誘導する 元気に歩ける人は小学校へ行ってもらう	
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.10　樫井西町

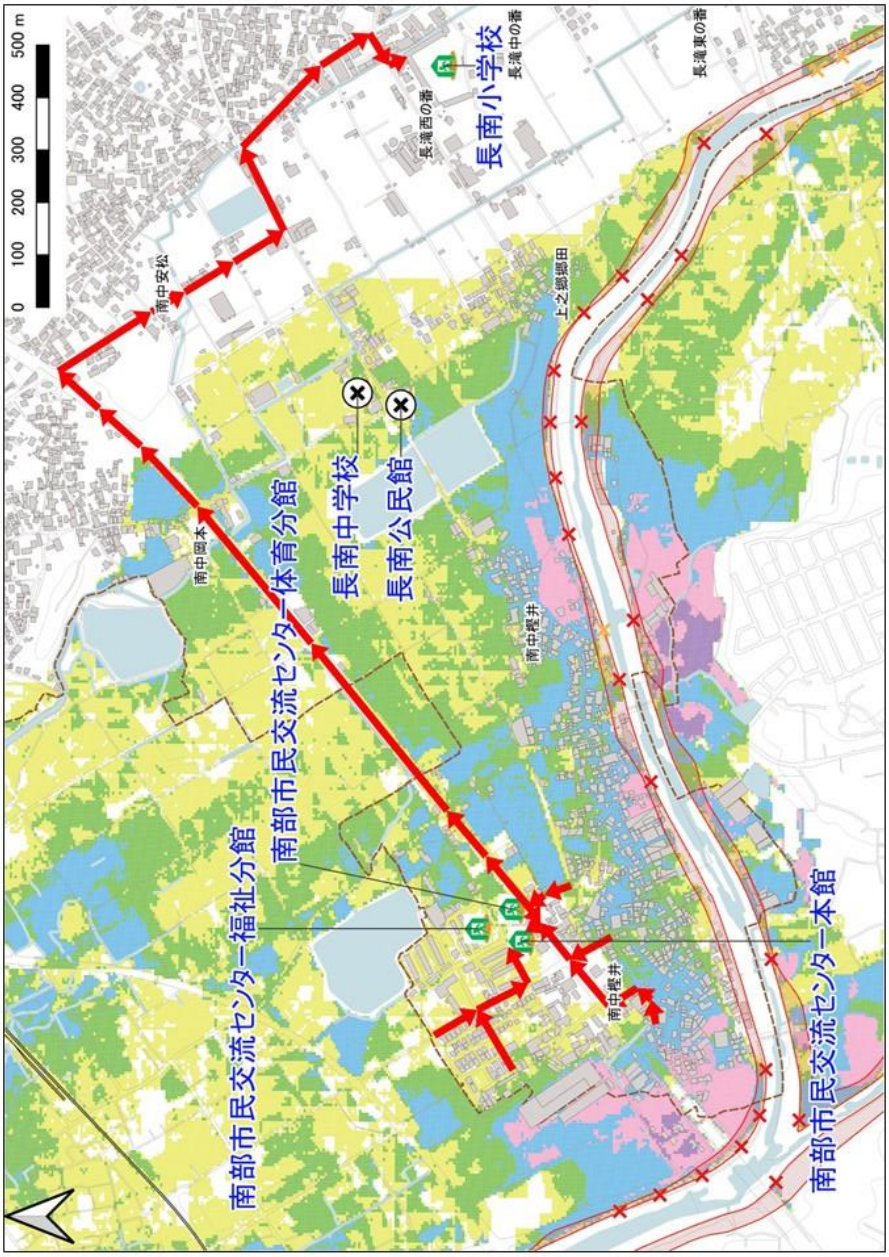
樫井西町ハザードマップ

【樫井西町会自主防災組織】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- 破堤想定地点
- 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 洪水時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

樫井西町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		**早期注意、今回の台風は危ない　町会班員で情報共有** **小さな子供が多い家庭へ声かけ**			**民生委員と町会のタイアップ**
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**情報が出たら町会に** **民生委員に確認させる** **家族に連絡** **避難所開設　高齢者に（動けない人）町会班員が連絡**	**班長が電話　訪問**	**要救助希望者**	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	**障がい者、病人にレベル3発令　班長から連絡** **高齢者避難情報発令で、班長が高齢者へ連絡する** **高齢者避難準備　班長** **車いす　避難準備　民生委員**	**TEL　訪問**	**車いす　介助者** **車で避難** **徒歩、車、手助け、あればリヤカー** **要支援者（高齢者など）班長が連れていく　歩き、車**	**リヤカーなどの半自動軽車両** **駐車場、スシロー、はま寿司** **団地2階以上　そのままのほうがよい**
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了					
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

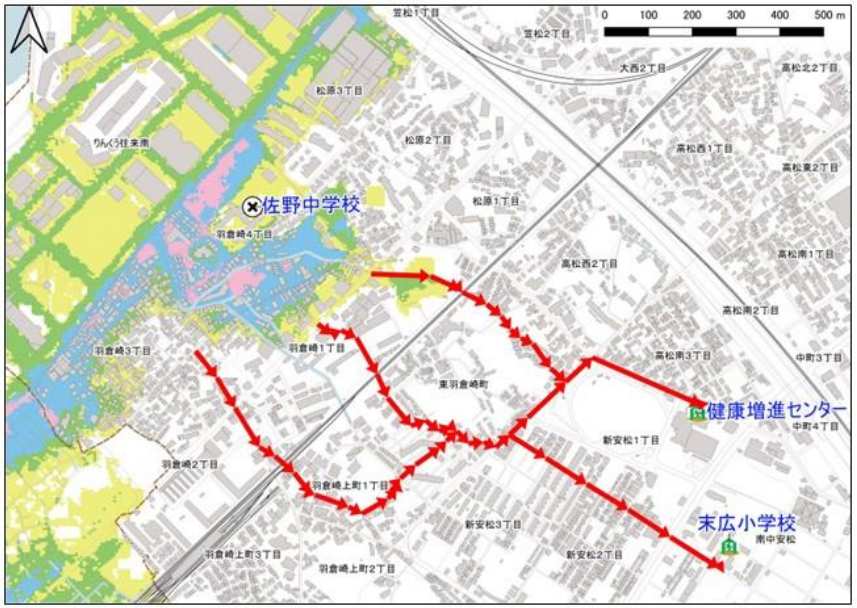
羽倉崎町ハザードマップ

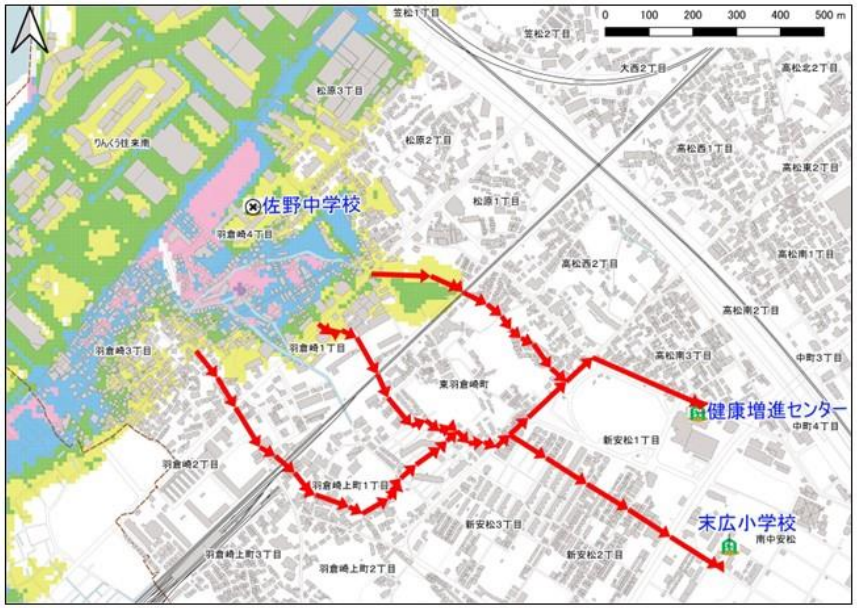
【羽倉崎町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

羽倉崎町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報					・回覧板に避難場所の周知徹底（市報配布など）		避難誘導係の中で車両提供ができる人を決める（事前リストアップ）保険の件を含む	３役が危険個所を見回る 台車・リヤカー（制作検討）
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		予報を確認し、注意報以上が考えられる場合に、町３役と民生委員３名は防災無線を持ち、連絡を確保する 訪問して伝える	直接家に行って安否確認する	組長さんが避難経路を説明する 民生委員を手助けしてくれる人を探しておく 補助のいる方の担当を決めておく	車いすを必要な人に届ける 透析患者への対応
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		各組長さんが組内を巡回する	携帯に出ない人 ↓ 町会役員にTEL ↓ 個別に訪問	避難誘導：民生とボランティア２人で高齢者で動きづらい人	すえひろ保育園、デイサービス マイクロバスの貸与をお願いする 避難時には、薬などを持ち出せるようにしておく 簡易トイレの利用
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	 氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難 	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	家族の連絡先を事前に記入しておく（身内）		車いす利用	
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	 氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了					
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

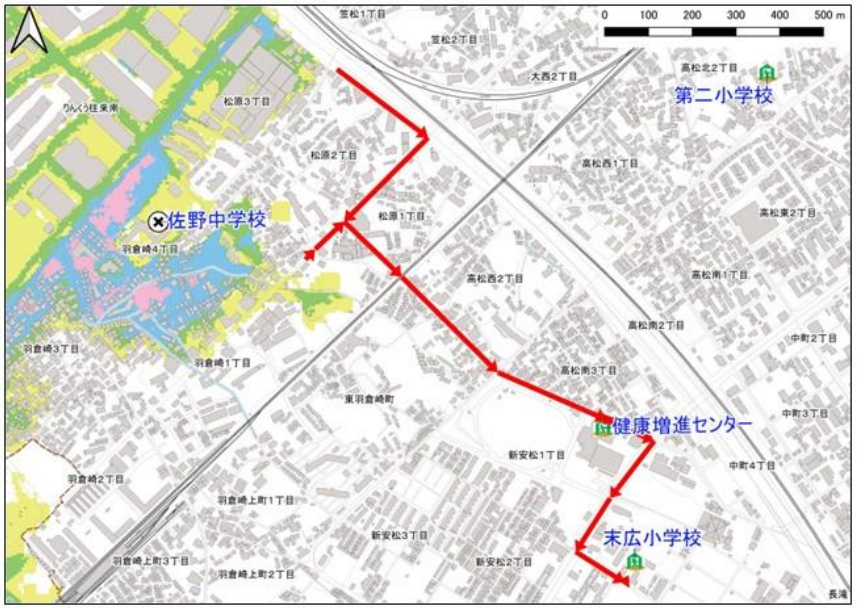
松原町ハザードマップ

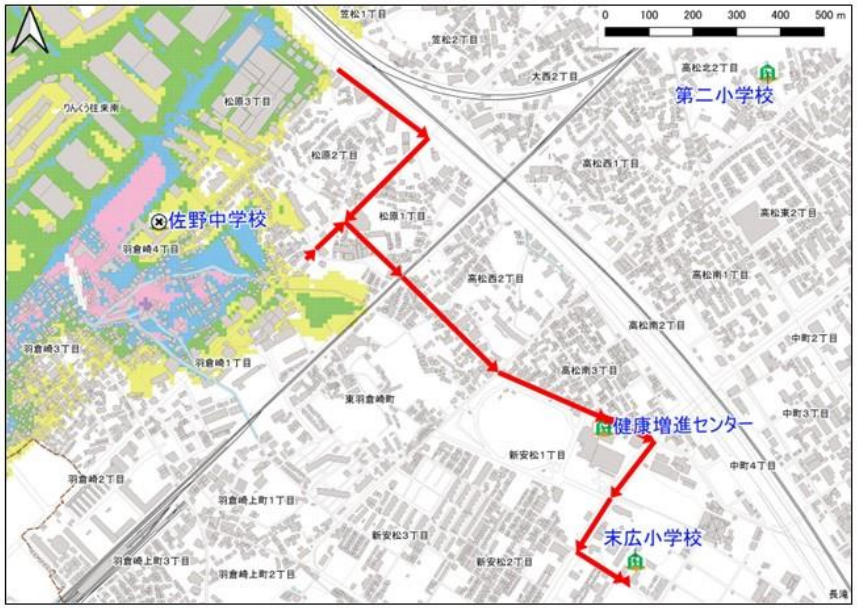
【松原町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

松原町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								避難所の場所、避難所のルート 情報網・連絡網の作成
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		避難所の再確認「末広公園」と知ってもらう	優先　独居高齢者の方で、危険地域の方に連絡	安全サポート 誘導の矢印などをつける 経路の表示	レベルに合わせてどうするか、組長会議などで避難につとめて理解と決めごとを確認する
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		一人暮らし、高齢者にTELして様子の確認する 町会長、組長さんに連絡をしてもらう 連絡は民生委員、防災係に一報入れてもらう	独居老人他　自力安全対策の困難な人に電話を入れる	自主避難所　あいていれば避難する	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難 	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		災害が起きたときにタオルの使用 まず、独居高齢者の安否を優先する	町会の方が決めて、車で避難所に送る（独居で避難が困難な方は）	避難誘導するときに交通整理をする人も決めておきたい
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了					
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

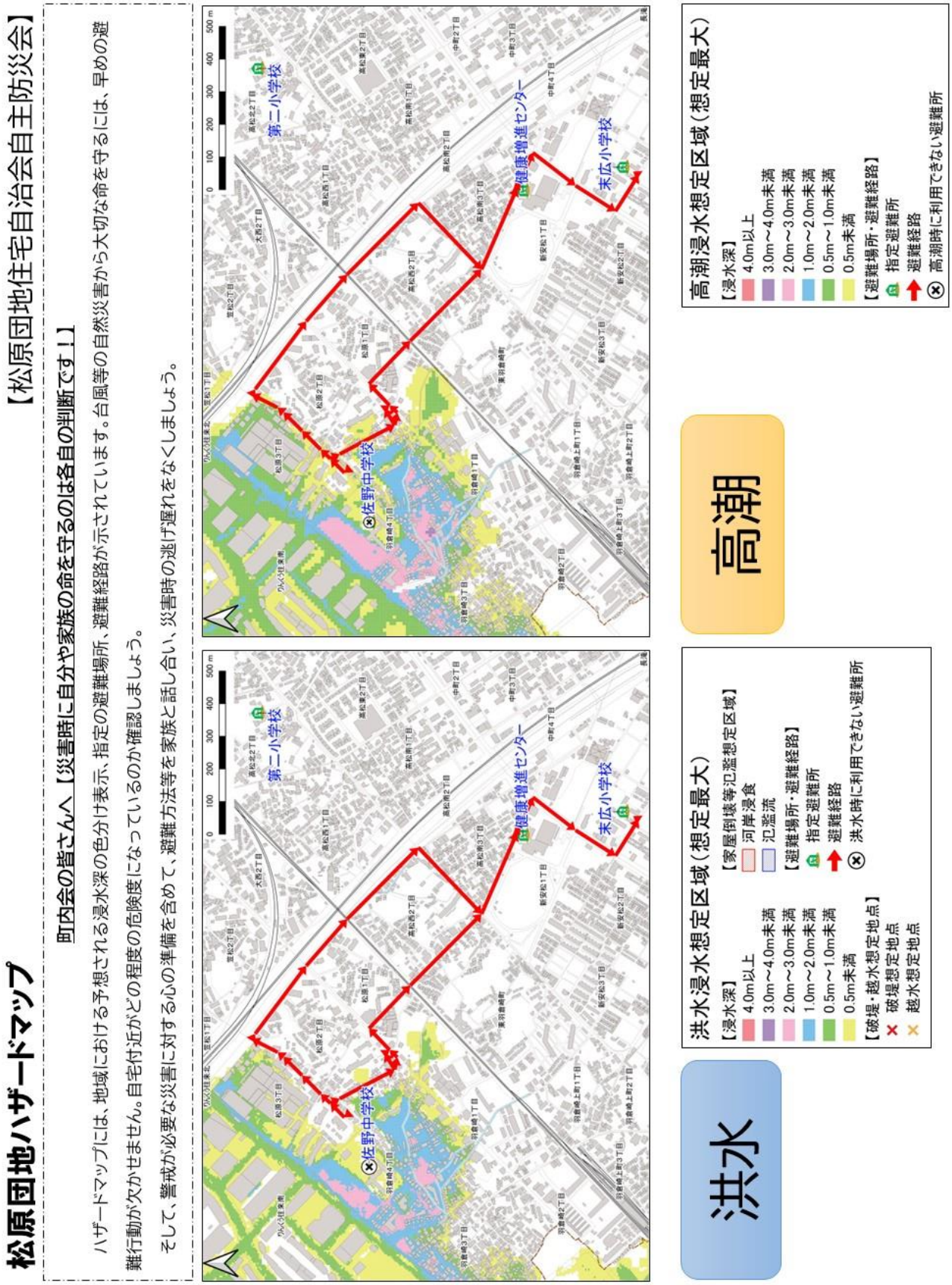
ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.13　松原団地


松原団地ハザードマップ
【松原団地住宅自治会自主防災会】
町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】
ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。
そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。
佐野中学校
第二小学校
健康増進センター
末広小学校
洪水
洪水浸水想定区域（想定最大）
【浸水深】
4.0m以上
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
【家屋倒壊等氾濫想定区域】
河岸浸食
氾濫流
【避難場所・避難経路】
指定避難所
避難経路
洪水時に利用できない避難所
【破堤・越水想定地点】
破堤想定地点
越水想定地点
高潮
高潮浸水想定区域（想定最大）
【浸水深】
4.0m以上
3.0m～4.0m未満
2.0m～3.0m未満
1.0m～2.0m未満
0.5m～1.0m未満
0.5m未満
【避難場所・避難経路】
指定避難所
避難経路
高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

松原団地　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃			**民生委員が一人暮らしの人に安否確認する** **民生委員が協力員に連絡して、暮らしの安否確認をしてもらう**		
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**各組長に連絡して、水分、食料を用意しておくように伝える** **懐中電灯の用意をしてもらうよう指示を出す** **会長からの指示で各組長に各棟の役員が連絡して組の安否確認をしてもらう　1階、2階は3階へ**	**民生委員が一人暮らしの人に安否確認する** **民生委員が協力員に連絡して、暮らしの安否確認をしてもらう**	**各1棟の責任者を決めて、誘導していく（リーダー）** **安否確認代表者に安否確認をし、避難場所誘導する**	**各家庭の食料を用意してもらう** **避難した人には、備蓄の水、パンを配る**
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	**停電になった時の準備を伝える**		**1棟、2棟** **団地3階以上に避難する**	
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		**市から町内区域に避難指示が発令されたら、役員と相談して上の階へ避難を電話で知らせる**			
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

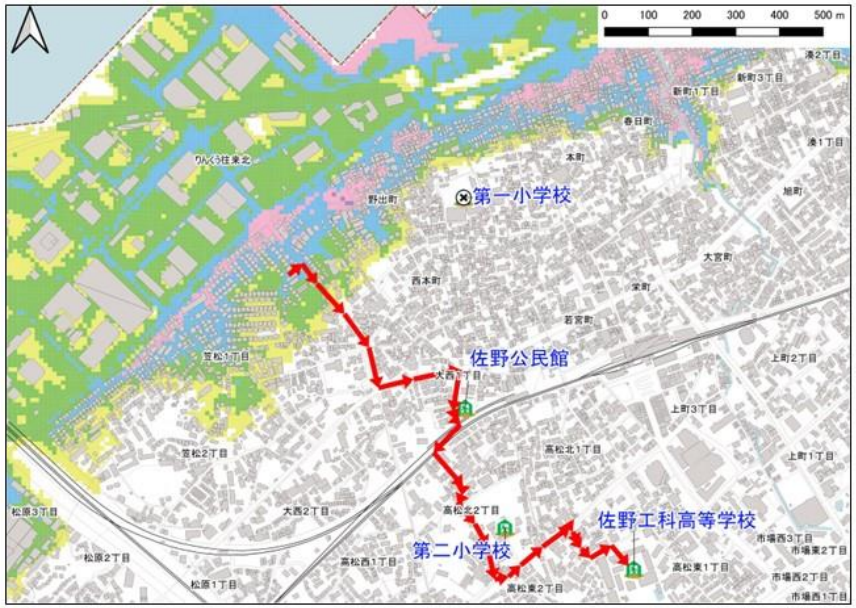
笠松町ハザードマップ

【笠松町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- ✕ 破堤想定地点
- ✕ 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

笠松町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報 早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃			要支援者の情報伝達と安否確認		住人一人ひとりの状況を把握して、その人一人ずつの保護者を決めておく 家族単位、町会の役員、班長単位 一人一人の個別計画を作っておく
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		高潮が必ず来るという情報が入ったら町会より各組長に電話連絡をして、各組の皆様へ情報伝達する	市からの防災情報は町内スピーカーのみに頼らず、町会役員に話がはっきり伝わるまで電話連絡してほしい	人数が多い場合はバスなどで誘導できるように手配する	危険度に応じて町会長が役員を集める
	暴風警報 大雨警報、洪水警報 	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難 	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	氾濫注意情報が出たら町会長より役員を招集 大雨警報が出たら各組組長がその組の皆さんに避難準備をするように知らせる	ハンドメガホンで町会役員が情報を伝えて回る	高齢者等、避難支援必要者への支援を区長・組長・民生委員協力員と実行する	
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		各組長が地区の状況を町内会長に報告し、会長が各組長及び防災委員、協力員に呼びかけ、協力して避難をする	高齢者等、避難支援必要者の避難状況を町会役員が確認する		
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

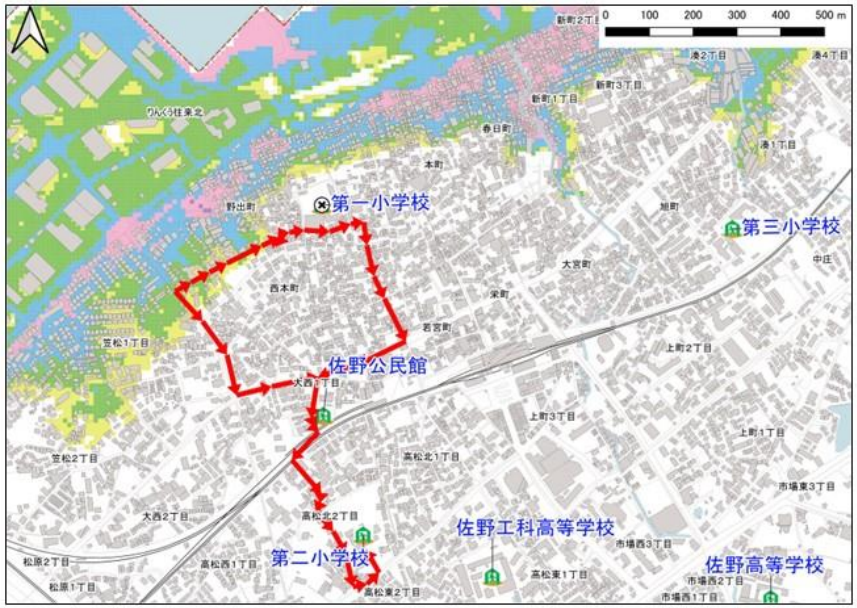
野出町ハザードマップ

【野出町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

野出町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**ひとり世帯、高齢者世帯は、組長が直接訪問して状況を伝える**	**高齢者に近所の人が訪問する**	**班長が避難ルートを組長に連絡、組等から各家庭に伝える**	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		**民生委員が中心になって安否確認**	**会館にある担架を使う** **軽トラで運ぶ**	**避難するとき、自分の服用する薬を持ってきてもらう** **避難を手伝ってもらう**
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了					
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

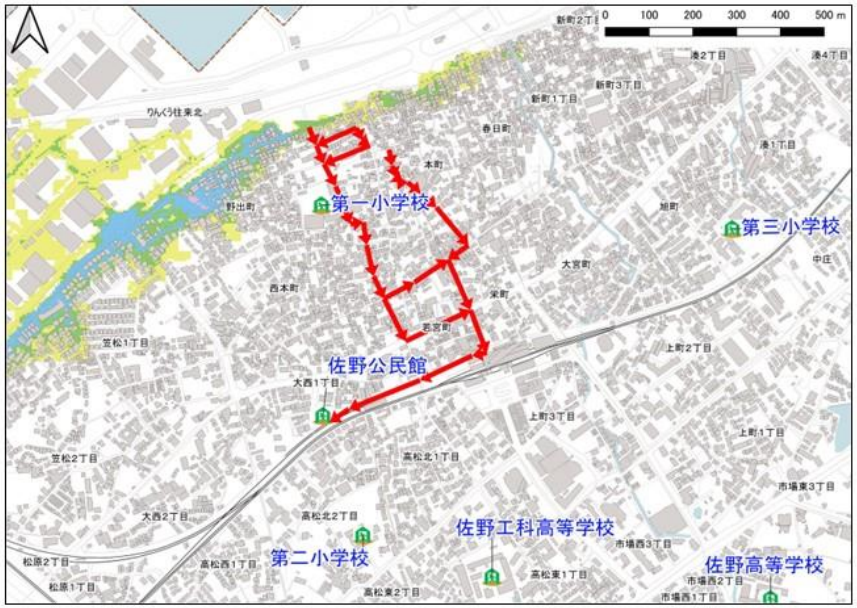
元町ハザードマップ

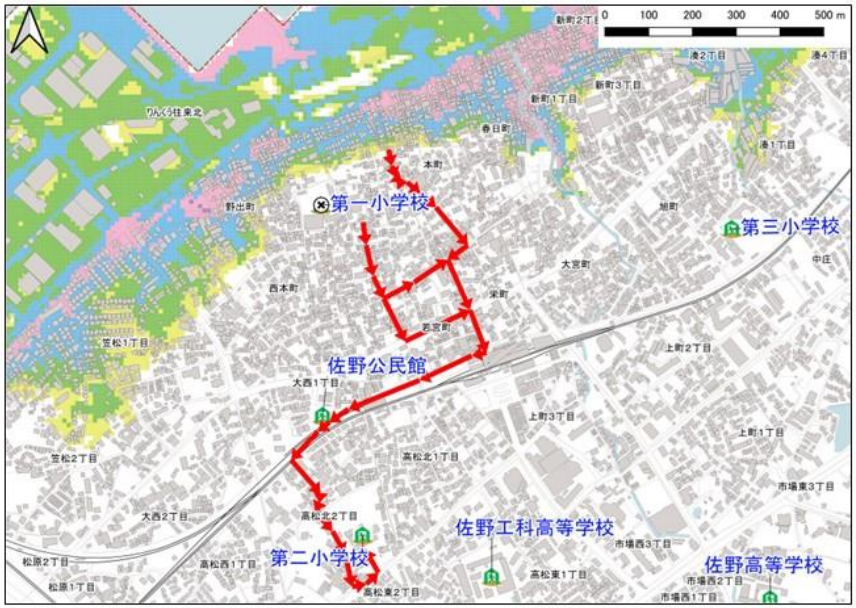
【元町自主防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

元町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		班長のサポート役との情報共有			
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		7～10 各班長に伝達			
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	避難情報が発令されたら、各班長へ連絡	各班長がTELもしくは訪問で安否確認を行う		
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		気象状況を伝え、安全か、避難経路、避難場所を伝える 会長→●●さんに連絡 会長→1～6班 ●●さん→7～10班 班長にTEL 情報伝達で各班に2名　の確認する担当見つける	困難者の情報を共有 ↓ 自主防災会 一人暮らし高齢者、民生委員と会員で確認する（28名）	避難時高齢者と中学、高学年の子たちとともに一緒に避難所へ行く	
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先	

避難に関する参考情報	
河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

1.17　西本町

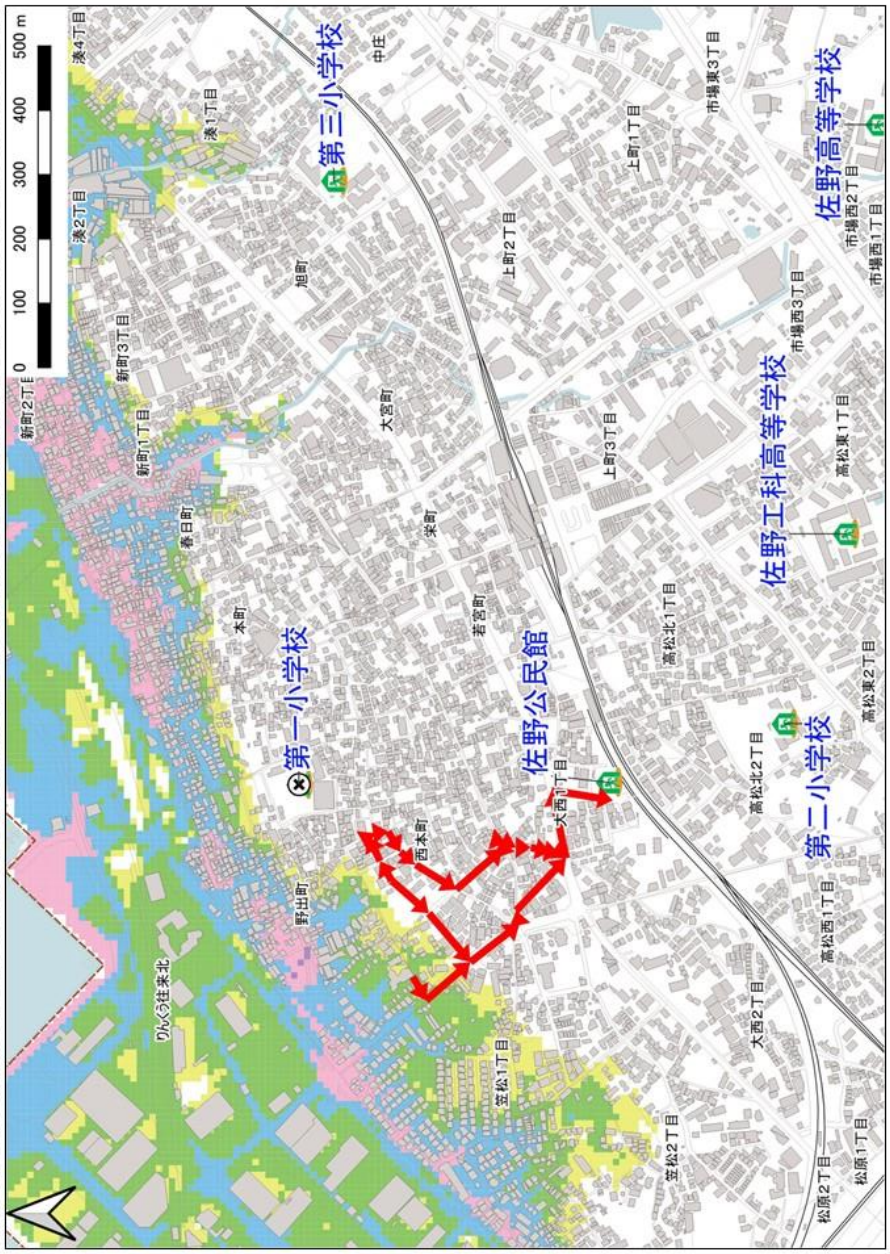
西本町ハザードマップ

【西本町自主防災会】

町内の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、高潮災害で予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。高潮時、第一小学校は避難所として利用できません。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。



高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

西本町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		**気象情報を随時確認**			
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**8班　班長、組長へ避難情報を電話連絡** **4班4組も避難情報を電話**	**福祉委員会の担当者　独居高齢屋の避難意思確認⇒必要な方の避難誘導**	**心明会館は高齢者** **歩行困難な方は自動車で送る**	**薬、薬手帳（必須）の他、老眼鏡、入れ歯、毛布、アルミシート、新聞紙など準備**
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		**避難できていない人がいないか再確認** **隣近所で助け合う**		
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了		**避難情報を再度連絡**		**避難が危険な場合は在宅避難（2階以上）を促す**	
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

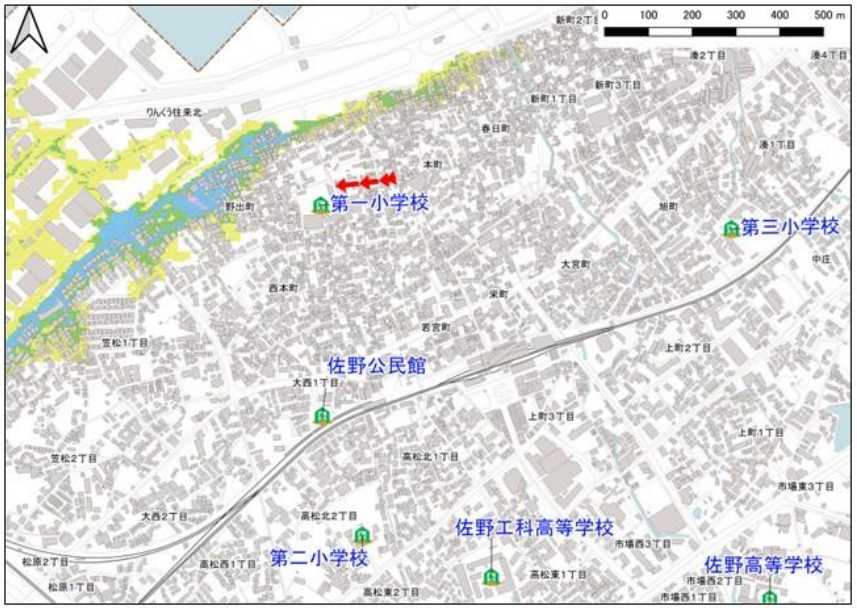
本町ハザードマップ

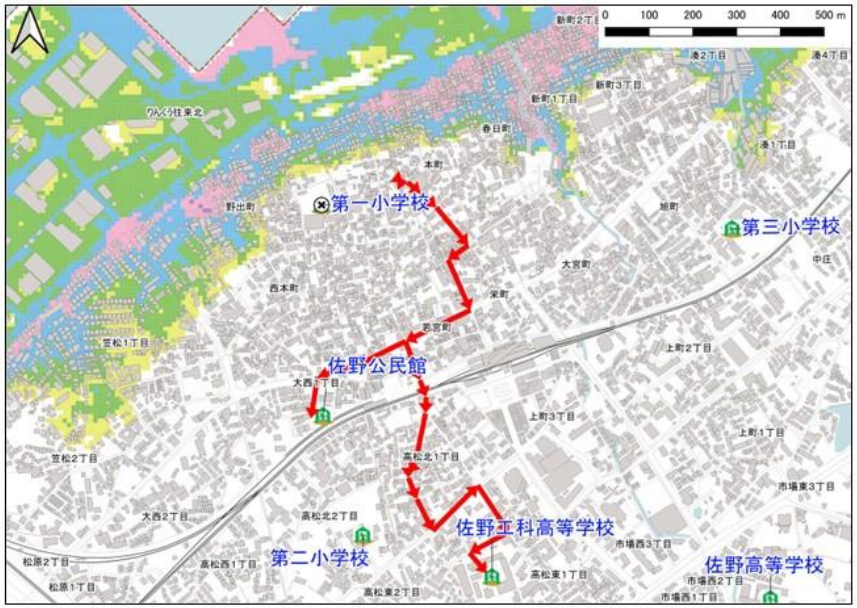
【本町町会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

本町　タイムライン

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。記載例の内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）記載例		マイ・タイムライン（地域住民）	
				避難できる人	避難支援が必要な人	避難できる人	避難支援が必要な人
	台風進路情報						
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃			
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	警戒レベル2【注意】 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える			
	 暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	警戒レベル3【警戒】 避難所開設 高齢者等避難 	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		
	 土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	警戒レベル4【非常に危険】 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了			
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	警戒レベル5【極めて危険】 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報			

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

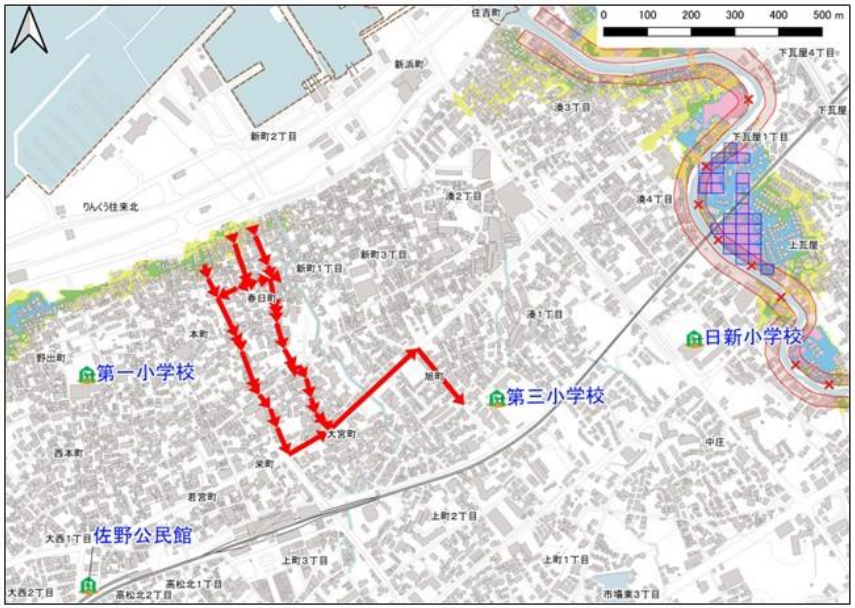
春日町ハザードマップ

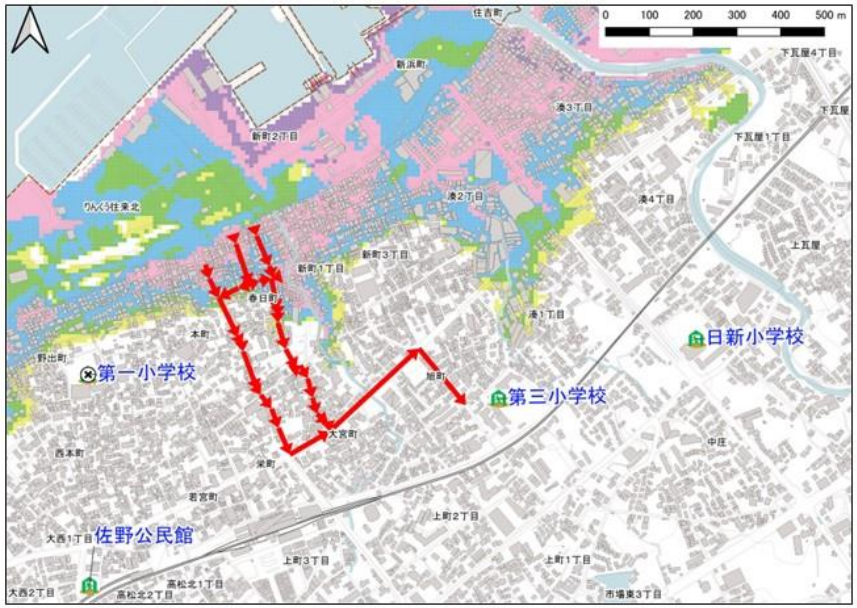
【春日町防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

春日町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民）		コミュニティタイムライン（地域の動き）			
				避難できる人	避難支援が必要な人	情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃					
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**会長が各班長に伝達 避難を促す** **注意報 TV等の情報にて各人が確認する**	**安否確認タオルを付けているか確認**	**避難路に川や段差のある場所を確認**	
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了	**河川氾濫情報が出た時 河川に近づかないように伝達** **警報 町会、防災会役員が災害の予想地域の高齢者に避難する**		**誘導班が高齢者宅に避難誘導を呼び掛ける**	
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了					
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

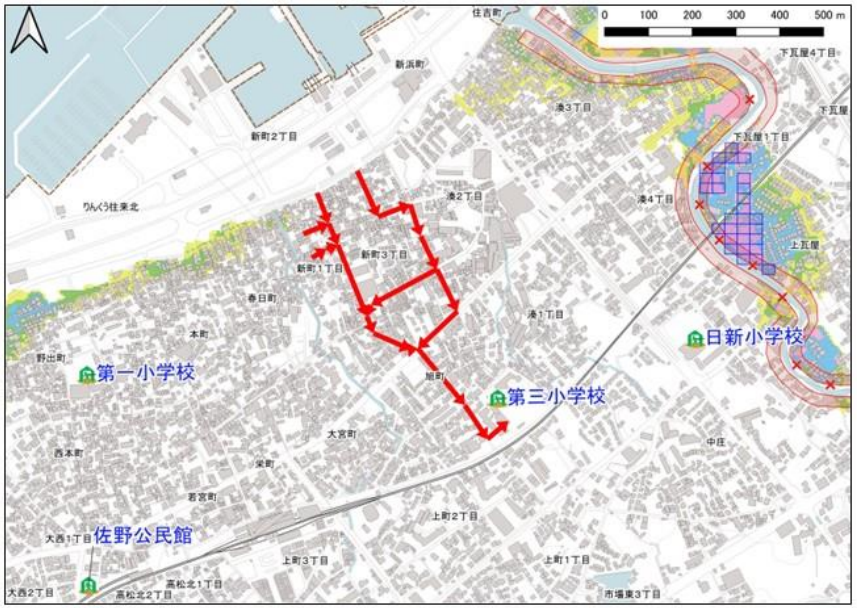
新町ハザードマップ

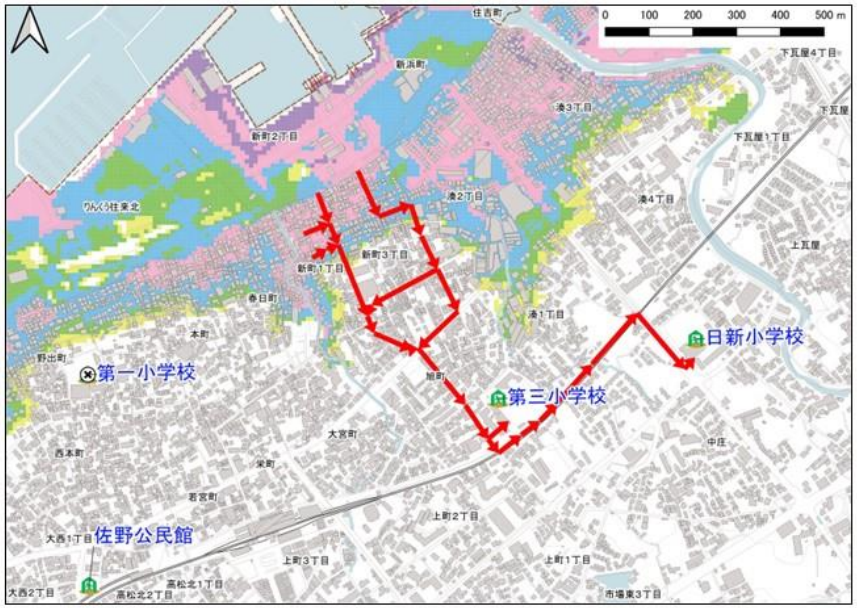
【新町防災会】

町内会の皆さんへ【災害時に自分や家族の命を守るのは各自の判断です！】

ハザードマップには、地域における予想される浸水深の色分け表示、指定の避難場所、避難経路が示されています。台風等の自然災害から大切な命を守るには、早めの避難行動が欠かせません。自宅付近がどの程度の危険度になっているのか確認しましょう。

そして、警戒が必要な災害に対する心の準備を含めて、避難方法等を家族と話し合い、災害時の逃げ遅れをなくしましょう。





洪水

洪水浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【破堤・越水想定地点】
- × 破堤想定地点
- × 越水想定地点

【家屋倒壊等氾濫想定区域】
- 河岸浸食
- 氾濫流

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 洪水時に利用できない避難所

高潮

高潮浸水想定区域（想定最大）

【浸水深】
- 4.0m以上
- 3.0m～4.0m未満
- 2.0m～3.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

【避難場所・避難経路】
- 指定避難所
- 避難経路
- ⊗ 高潮時に利用できない避難所

マイ・タイムラインとは、いざという時にあわてることがないよう、避難に備えた行動を一人ひとりが時系列的に整理しておくものです。ご家族で話し合って、事前に災害時の行動をシートに記入しておきましょう。ここに記載している内容は、一例ですので様々な状況を想定してみましょう。

新町　タイムライン

地域の自主防災組織が風水害による河川の氾濫や高潮で、浸水発生の恐れがある場合に、地域としてどのタイミングでどのような行動をとれば良いかを、講演会の参加・地域まち歩き・ワークショップを通して学習検討を行い、コミュニティタイムラインの作成に取り組みました。表内には、ワークショップ時に出た意見を記載しています。

時間経過	気象情報・河川の水位情報等（注１）		市町村の避難情報 警戒レベルなど	マイ・タイムライン（地域住民） 避難できる人	避難支援が必要な人	コミュニティタイムライン（地域の動き） 情報伝達	安否確認	避難誘導	その他
	台風進路情報								
	早期注意情報（警報級の可能性等の情報） 台風に関する情報（随時）			・今後の台風や前線の動きを調べる ・避難するときに持っていくものを準備する ・携帯電話の充電 ・家の周りに風で飛ばされるものはないか確認する ・排水溝の清掃		**（通報）新町スピーカーで繰り返し知らせる**	**防災組織でつかんでいる高齢者、障がい者の安否確認をする**	**車での避難はできないので、リヤカーを活用して救助活動する**	**漁業組合と事前に打ち合わせをして災害時にはリヤカーを貸していただく** **長生会館を仮本部として連絡調整体制をとる**
	大雨注意報、洪水注意報 強風注意報、高潮注意報 大雨注意報、洪水注意報、強風注意報を警報に切り替える可能性について	氾濫注意情報 （氾濫注意水位到達）	**警戒レベル2【注意】** 自主避難所開設準備	・自宅の点検 ・テレビ等で台風や雨の状況を注視する ・家族の予定を確認する（キャンセルも視野に） ・ハザードマップで避難場所・避難経路を確認する ・避難しやすい服装に着替える		**開設後、福祉委員は、声掛け対象者（見守り）に避難行動を促す** **町内防災会班長が伝える**	**ひとり暮らし高齢者には、新町福祉のKPやVRが適当な手段で調べる** **班長が各家庭に連絡する**	**避難路の案内をする** **二階に上れる人は自宅（待機）する**	**「天寿」さんに足腰の弱い人を避難させてもらう**
	暴風警報 大雨警報、洪水警報	氾濫警戒情報 （避難判断水位到達）	**警戒レベル3【警戒】** 避難所開設 高齢者等避難	・災害リスクが高い地域は自主避難を開始する	・高齢者等、移動に時間のかかる人は、避難開始の判断 ・家族親類や地域に必要な支援を要請 ・避難完了		**班長に連絡してそれぞれの受け持ちを点検**	**避難誘導班は避難所に来てない人を指示のもと、、高齢者、障がい者の救助に向かう** **高齢者を防災役員、班長が誘導する**	
	土砂災害警戒情報 記録的短時間大雨情報 高潮警報、高潮特別警報	氾濫危険情報 （氾濫危険水位到達）	**警戒レベル4【非常に危険】** 避難指示	・近所に声をかけながら避難を開始 ・避難完了				**避難所開設後、各班長が声掛けし三小間で一緒に誘導する**	
	大雨特別警報 高潮氾濫発生情報	氾濫発生情報	**警戒レベル5【極めて危険】** 緊急安全確保	・逃げ遅れた場合は、自宅２階に上がるなど命を守る行動に徹する ・救助の必要がある場合は、消防・警察・市役所に通報					

（注１）気象情報、河川の水位情報等は、地域の事情によってタイミングが変わります。

ワークショップ時の様子

連絡先

避難に関する参考情報

河川カメラ http://www.osaka-pref-rivercam.info/	
河川防災情報 http://www.osaka-kasenportal.net/suibou/index.html	
洪水リスク表示図 http://www.river.pref.osaka.jp/	
土砂災害危険度情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/Index.html	

津波・河川氾濫・高潮に対する避難計画

平成 28 年 7 月策定

令和 5 年 3 月改定

編集発行　泉佐野市市民協働部危機管理課

〒598-8550

泉佐野市市場東 1 丁目 1 番 1 号

電話　072-463-1212